



「英語による課題研究発表会」を開催しました



7月12日(木)に、理数科3年生による「英語による課題研究発表会」を実施しました。4月から、学校設定科目「SSH研究Ⅲ」で、佐賀大学大学院の留学生の方々やA L Tによるアドバイスのもと、英語ポスターの作成や発表準備に取り組みました。各班が研究活動の内容について、聴講者として参加した理数科2年生や来賓の先生方、留学生、県内外の学校の先生等に対して英語で説明しました。

【数学分野】

- The relation between the number of hints and answer on Number Place
- Knight's Tour
- The best way to win the number game and AI development

【物理分野】

- Investigate of the relationship between the wind velocity and different blades
- Glass ball power generation
- Make Long of the Duration Flight
- How to make the best splash
- The relationship between shape of water drain and water flow rate

- What angle is the best?

【化学分野】

- Control of Metal Tree
- Chemical Light
- Catalyst of Fuel Cell
- Flame reaction ~how to make new fireworks~
- The disinfection capability of metal ions
- 【生物分野】
- The Effects of Plants Hormones on Germination of Seeding Density
- For More Secure Sugar Content
- Relationship between Catechin and Lipolytic Promotion

- IDENTIFY THE SUBSTANCES THAT HAVE HIGH ULTRAVIOLET ABSORBANCE

- Alternative Turning Response of Armadillidium Vulgare

- The anti-fungal action of tea catechin

【共創分野】

- Verification of twin-torn breakwater
- pH investigation of cement for its durability
- Substitution of gluten

発表会の閉会式で、来賓の先生方から以下のような講評をいただきました。

- グローバル化、第四次産業革命など、俺たちが日本をよくするという気概を持ってほしい。
- 留学生の指導を通して、最後までまとめてよかった。図のキャプチャを書く。時制に気を付ける。
- 英語での質問に答えることが能力の伸びにつながる。
- ポスターの文が長いので、キーワードや写真、図を使う。軸の要素を書く。何を伝えたいかを明確に。
- 研究目的に結論が対応していると、その研究は成功と言える。このような研究のフレームワークを守り、その上にオリジナリティを発揮する。何人かはオーディエンスを見ながらプレゼンできている。
- 将来、国際学会に出るよい練習。英語は流暢とは限らない。ポスターにまとめると伝わる。
- できたこととできなかったことを分けていて感心した。相手に伝えたいコアな情報をまとめる。